

 **日本プラスト株式会社**

2024年3月期 決算説明資料

I部：決算報告・見通し・トピックス
II部：第6次中期経営計画進捗

2024年3月期決算説明動画は
当社YouTubeチャンネルに掲載しております。

動画URL

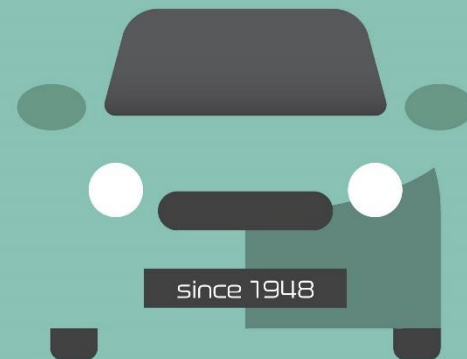
I部：<https://youtu.be/LTta5zz3m5c>

II部：<https://youtu.be/TjMAj765vCE>

1. 2024年3月期 決算報告

2. 2025年3月期 通期見通し

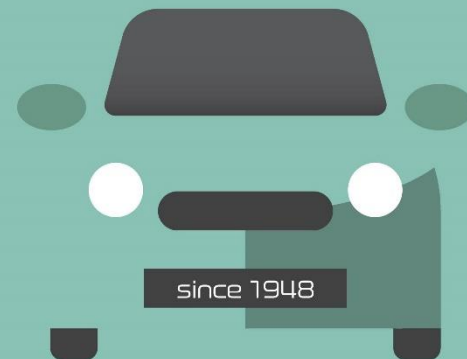
3. トピックス



1. 2024年3月期 決算報告

2. 2025年3月期 通期見通し

3. トピックス



(1) 概要



(単位：百万円)

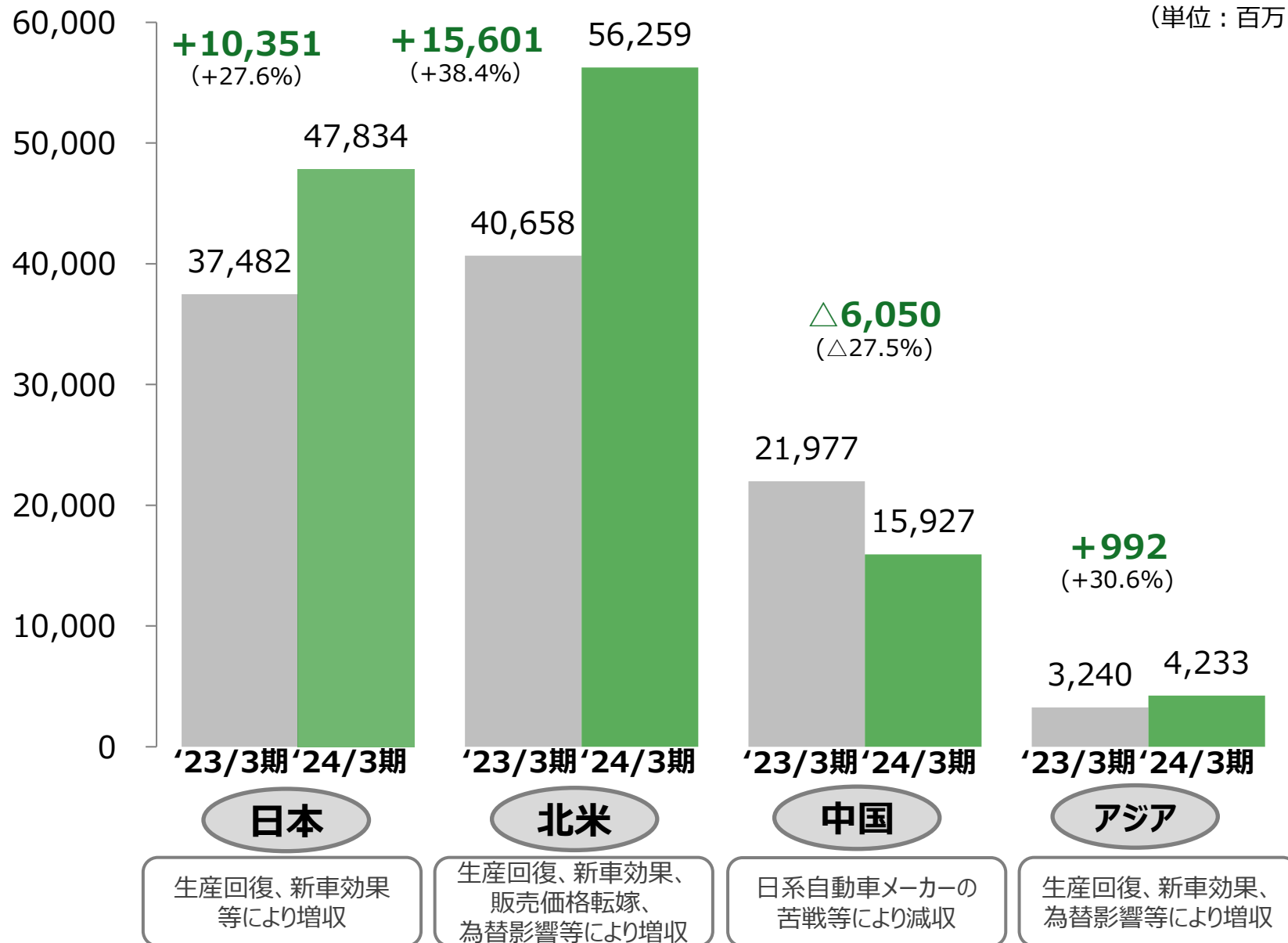
	2023年3月期		2024年3月期		対前年比	
					増減	伸率
売上高	103,359	100.0%	124,255	100.0%	20,895	20.2 %
売上原価	95,821	92.7%	111,781	90.0%	15,959	16.7 %
売上総利益	7,537	7.3%	12,473	10.0%	4,936	65.5 %
販売費及び一般管理費	8,504	8.2%	9,662	7.8%	1,158	13.6 %
営業利益又は 営業損失(△)	△ 966	△ 0.9%	2,811	2.3%	3,777	—
経常利益又は 経常損失(△)	△ 749	△ 0.7%	2,920	2.4%	3,670	—
親会社株主に帰属する当期純 利益又は親会社株主に帰属す る当期純損失(△)	△ 3,602	△ 3.5%	2,478	2.0%	6,081	—
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△ 188.35円		129.75円		—	—
1株当たり配当金	10.00円		15.00円		—	—
設備投資額	4,680		2,710		△ 1,970	△ 42.1 %
減価償却費	5,718		5,504		△ 214	△ 3.8 %
US \$ 換算レート	注1) 132.09円		注2) 141.20円		9.11円	—

注2) 22年1~12月平均レート 注2) 23年1~12月平均レート

(2) セグメント情報 <地域別売上>



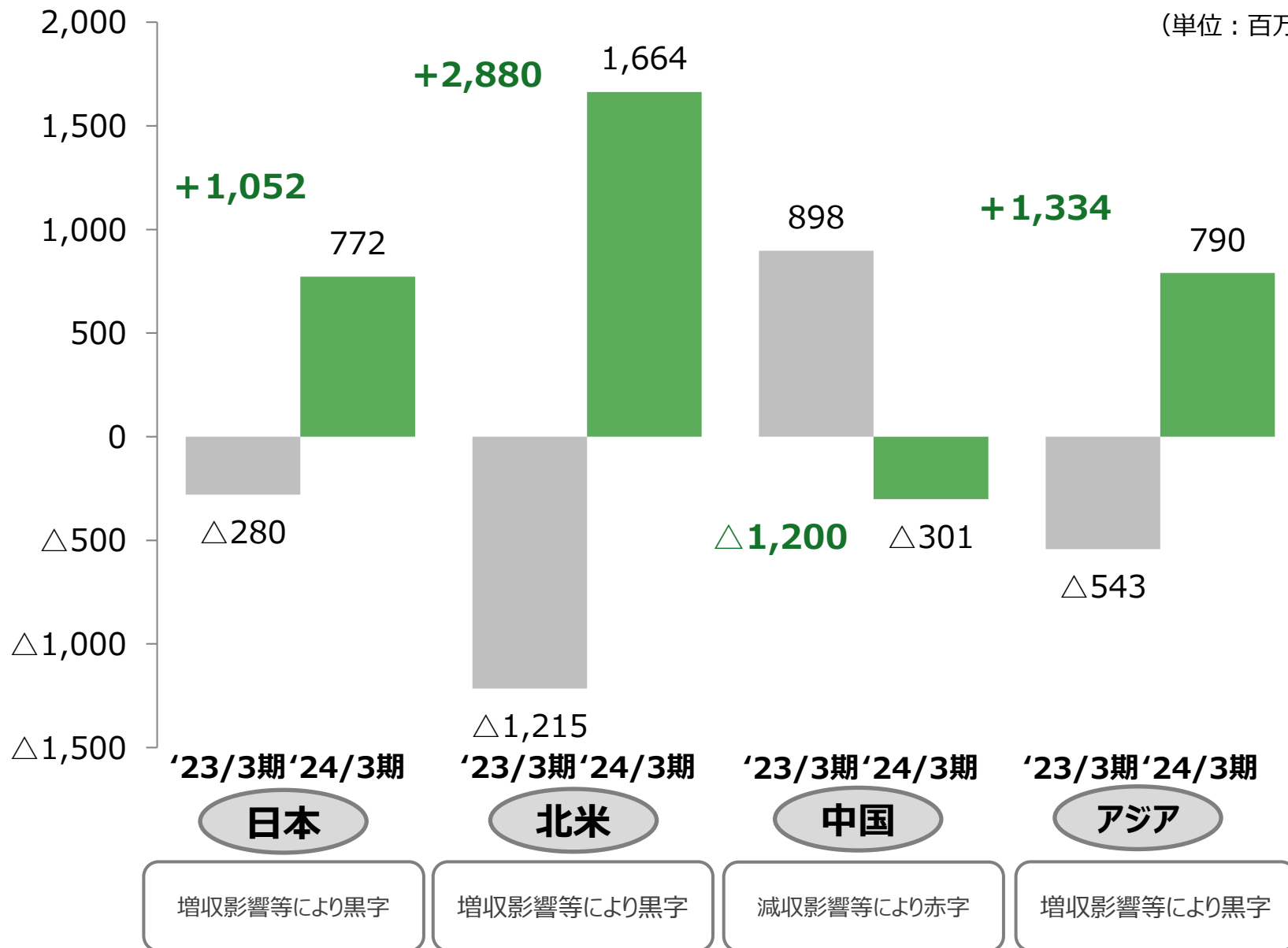
(単位：百万円)



(2) セグメント情報 <地域別営業利益>



(単位：百万円)

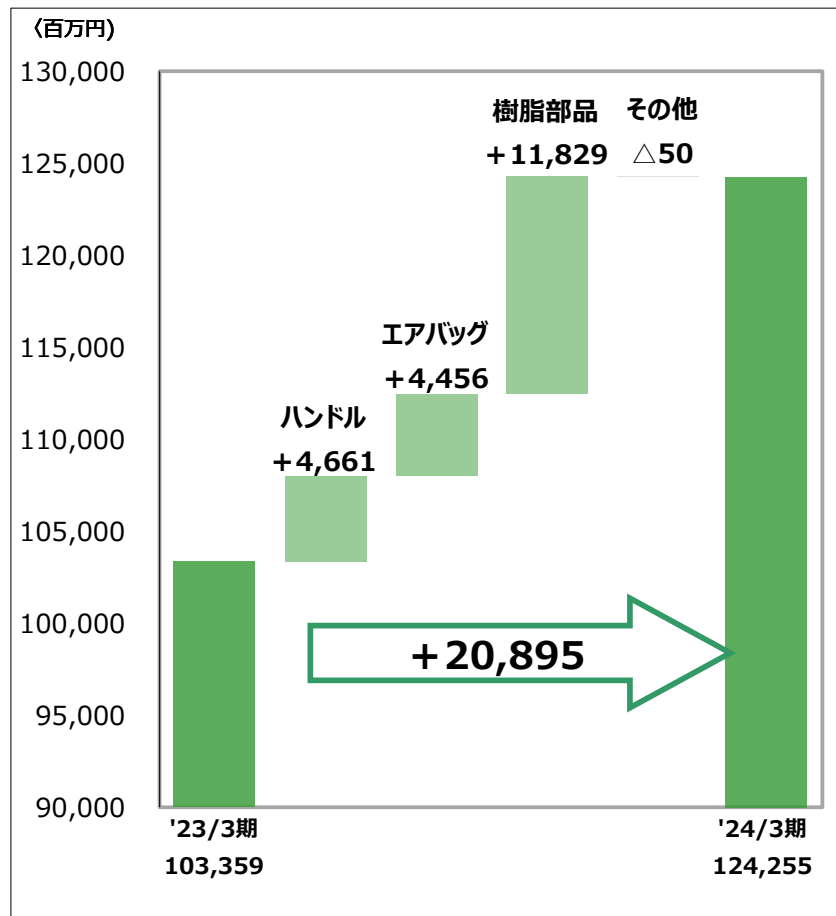


(3) 製品別売上



(単位：百万円)

	'23/3期	'24/3期	対前年比	
			増減	伸率
			ハンドル	26,857 (26.0%)
エアバッグ	28,259 (27.3%)	32,715 (26.3%)	4,456	15.8%
樹脂部品	47,553 (46.0%)	59,382 (47.8%)	11,829	24.9%
その他	690 (0.7%)	640 (0.5%)	△50	△7.2%
連結売上高	103,359	124,255	20,895	20.2%



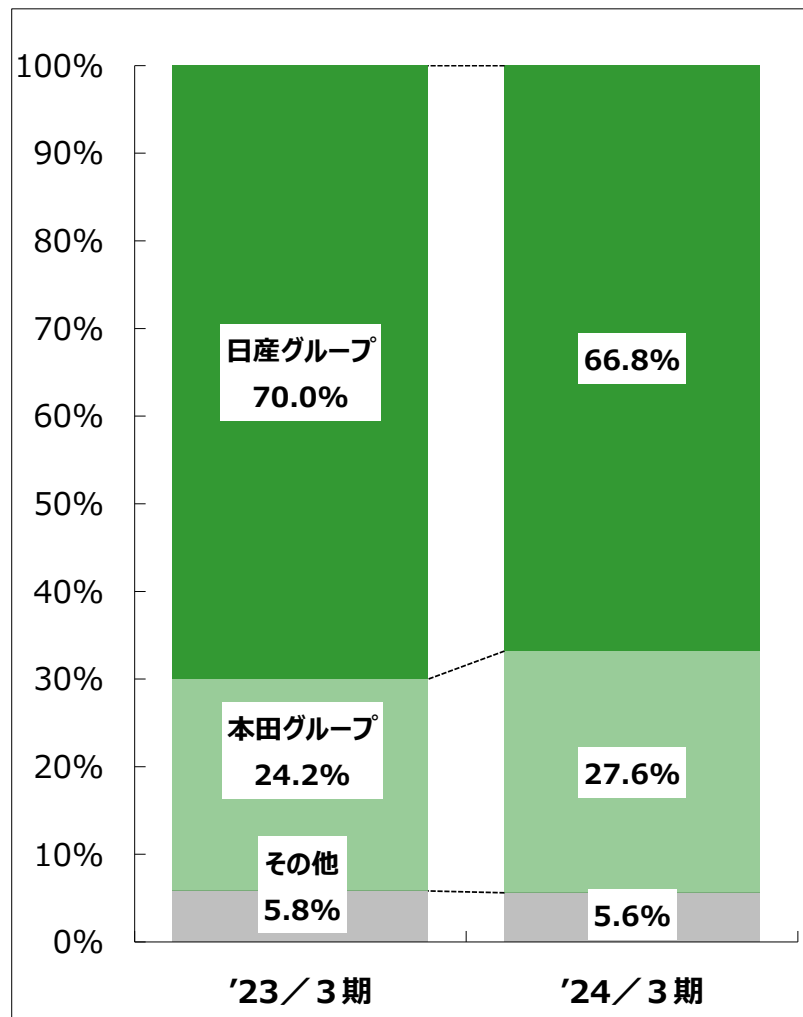
得意先の生産回復、新車効果、為替影響等によりハンドル、エアバッグ、樹脂部品は増加

(4) 得意先別売上



(単位：百万円)

	'23/3期	'24/3期	対前年比	
			増減	伸率
日産グループ	72,366 (70.0%)	82,979 (66.8%)	10,613	14.7%
本田グループ	24,970 (24.2%)	34,319 (27.6%)	9,349	37.4%
その他	6,023 (5.8%)	6,957 (5.6%)	934	15.5%
連結売上高	103,359	124,255	20,895	20.2%

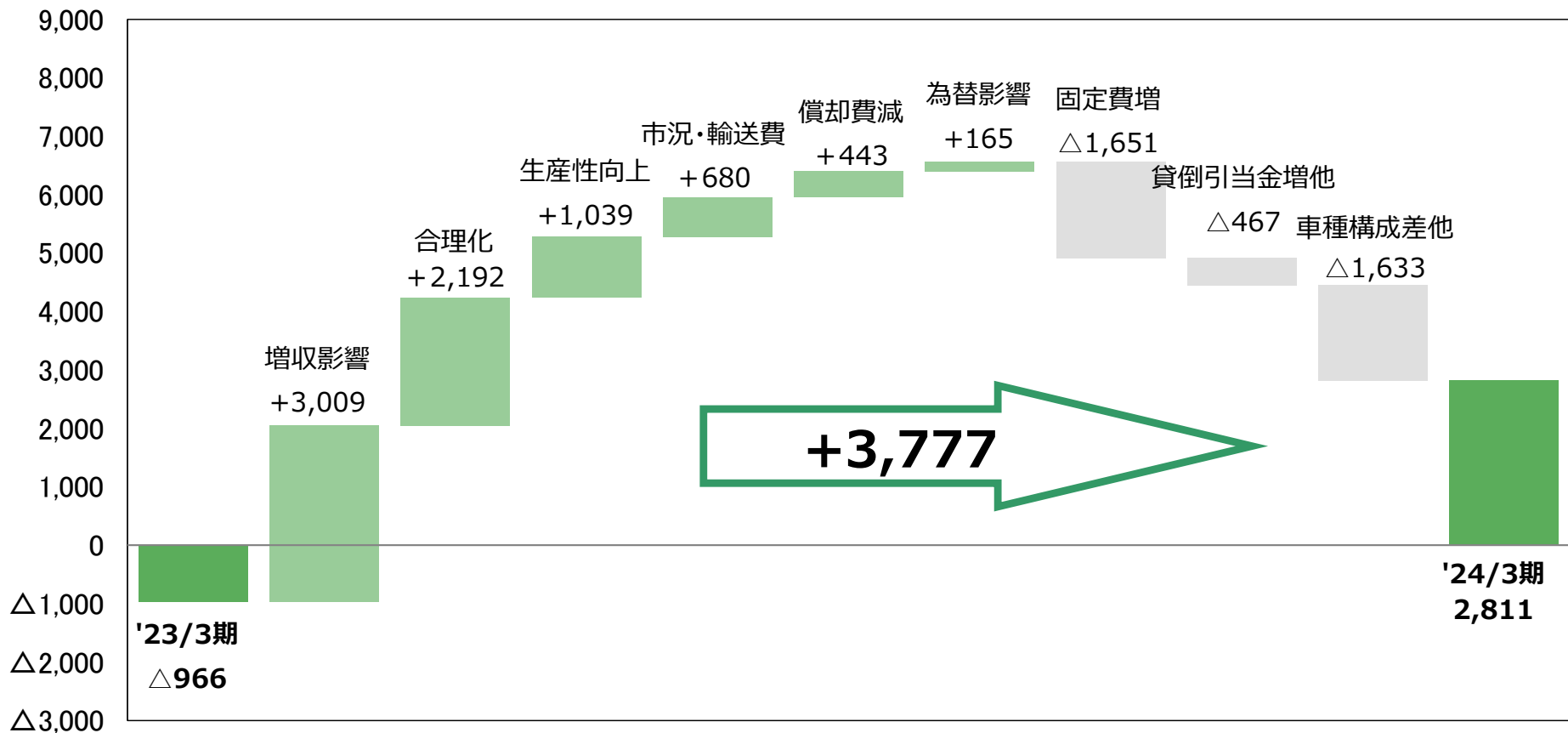


得意先の生産回復、新車効果、為替影響等により全得意先で一様に増加

(5) 営業利益増減説明



(単位：百万円)



※償却費は為替影響(△229)を除く金額となっています。

収益悪化要因は残存するものの、増収影響、合理化による収益改善、生産性向上、市況・輸送費等により黒字化

(6) B/S主要増減



(単位：百万円)

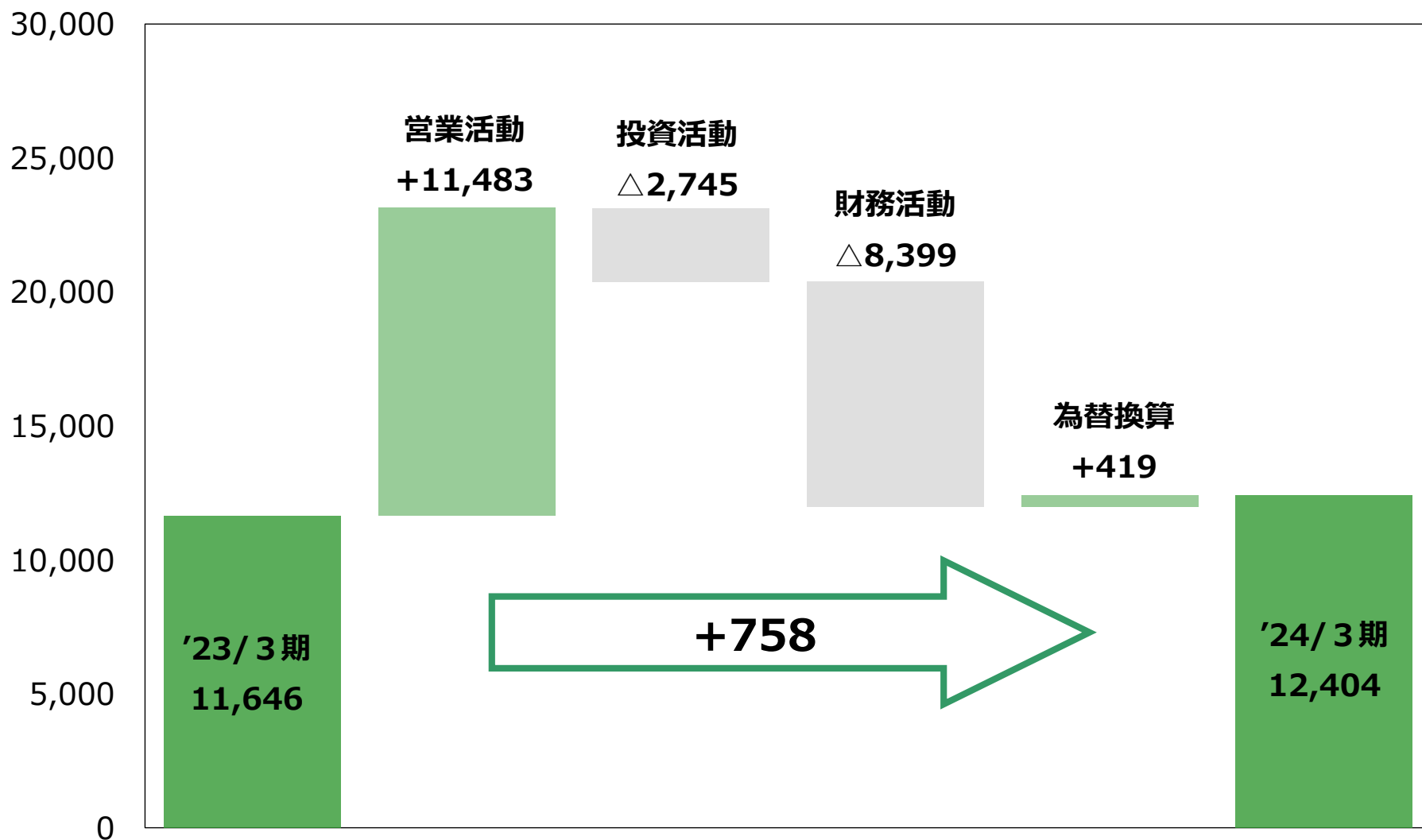
	'23/3末	'24/3末	前年度末比	主要増減要因
流動資産	46,038	46,346	307	<ul style="list-style-type: none"> ・売掛金 +2,453 ・原材料及び貯蔵品 △ 1,784
固定資産	35,411	35,587	175	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券 +1,136 ・機械装置及び運搬具 △ 957
資産合計	81,450	81,934	483	

	'23/3末	'24/3末	前年度末比	主要増減要因
流動負債	42,643	38,895	△ 3,748	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金 △ 5,673 ・支払手形及び買掛金 +2,219
固定負債	12,588	11,981	△ 606	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金 △ 754
純資産	26,219	31,057	4,838	<ul style="list-style-type: none"> ・利益剰余金 +2,236 ・為替換算調整勘定 +1,648
自己資本比率	32.2%	37.9%	5.7 %	
負債、少数株主持分及び資本合計	81,450	81,934	483	

(7) C/F増減



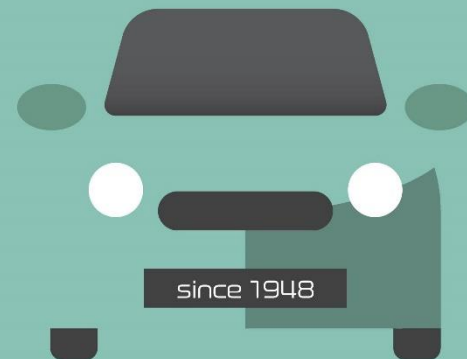
(単位：百万円)



1. 2024年3月期 決算報告

2. 2025年3月期 通期見通し

3. トピックス



(1) 概要



(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		増減	伸率
売上高	124,255	100.0%	122,000	100.0%	△ 2,255	△ 1.8 %
営業利益	2,811	2.3%	2,000	1.6%	△ 811	△ 28.9 %
経常利益	2,920	2.4%	1,400	1.1%	△ 1,520	△ 52.1 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,478	2.0%	900	0.7%	△ 1,578	△ 63.7 %
1株当たり当期純利益	129.75円		47.53円		—	—
1株当たり配当金	15.00円		15.00円		—	—

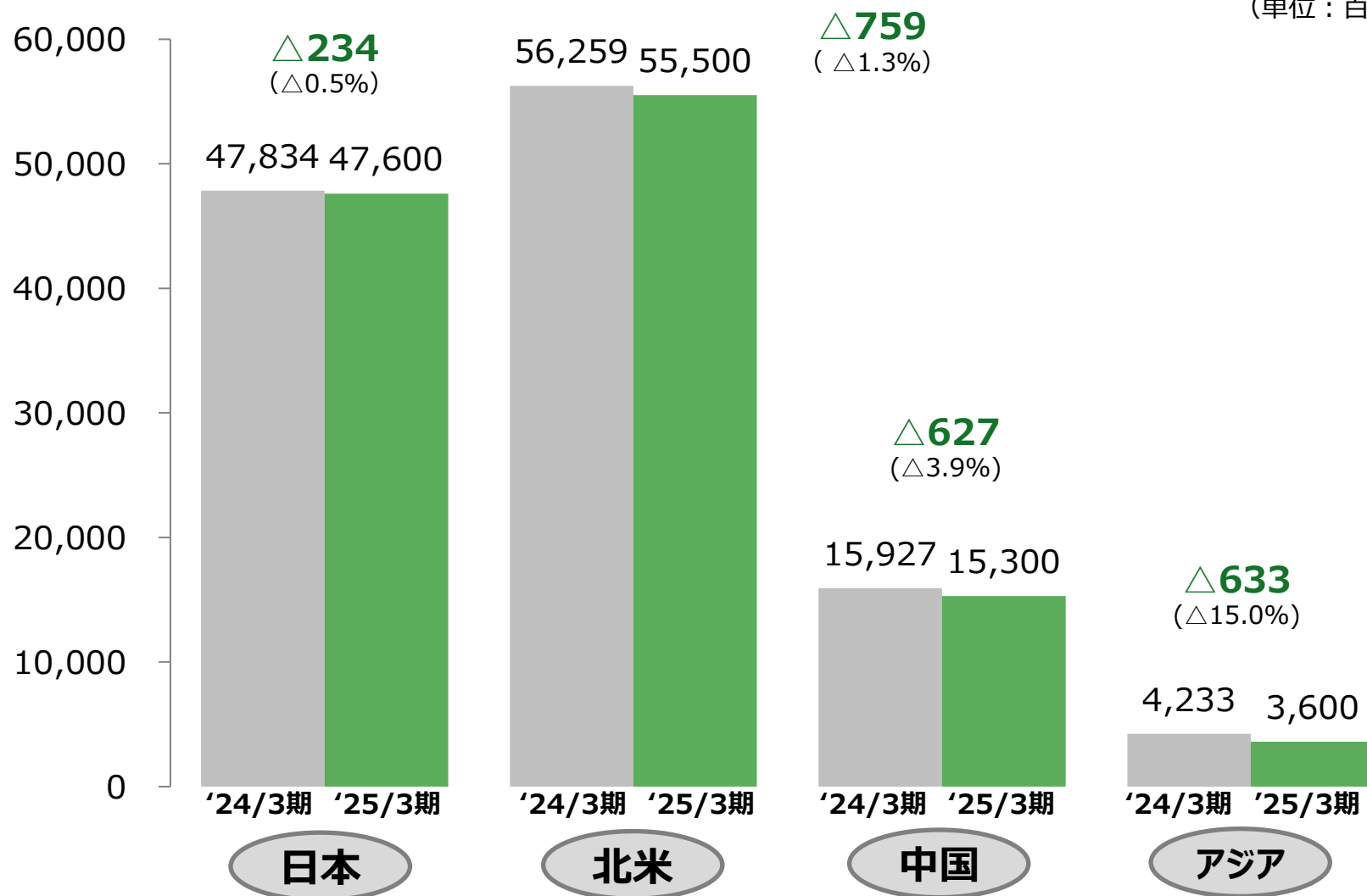
設備投資額	2,710	5,000	2,290	84.5 %
減価償却費	5,504	4,803	△ 701	△ 12.7 %

US \$ 換算レート	141.20円	145.00円	3.80	—
-------------	---------	---------	------	---

(2) セグメント情報 <地域別売上>



(単位：百万円)

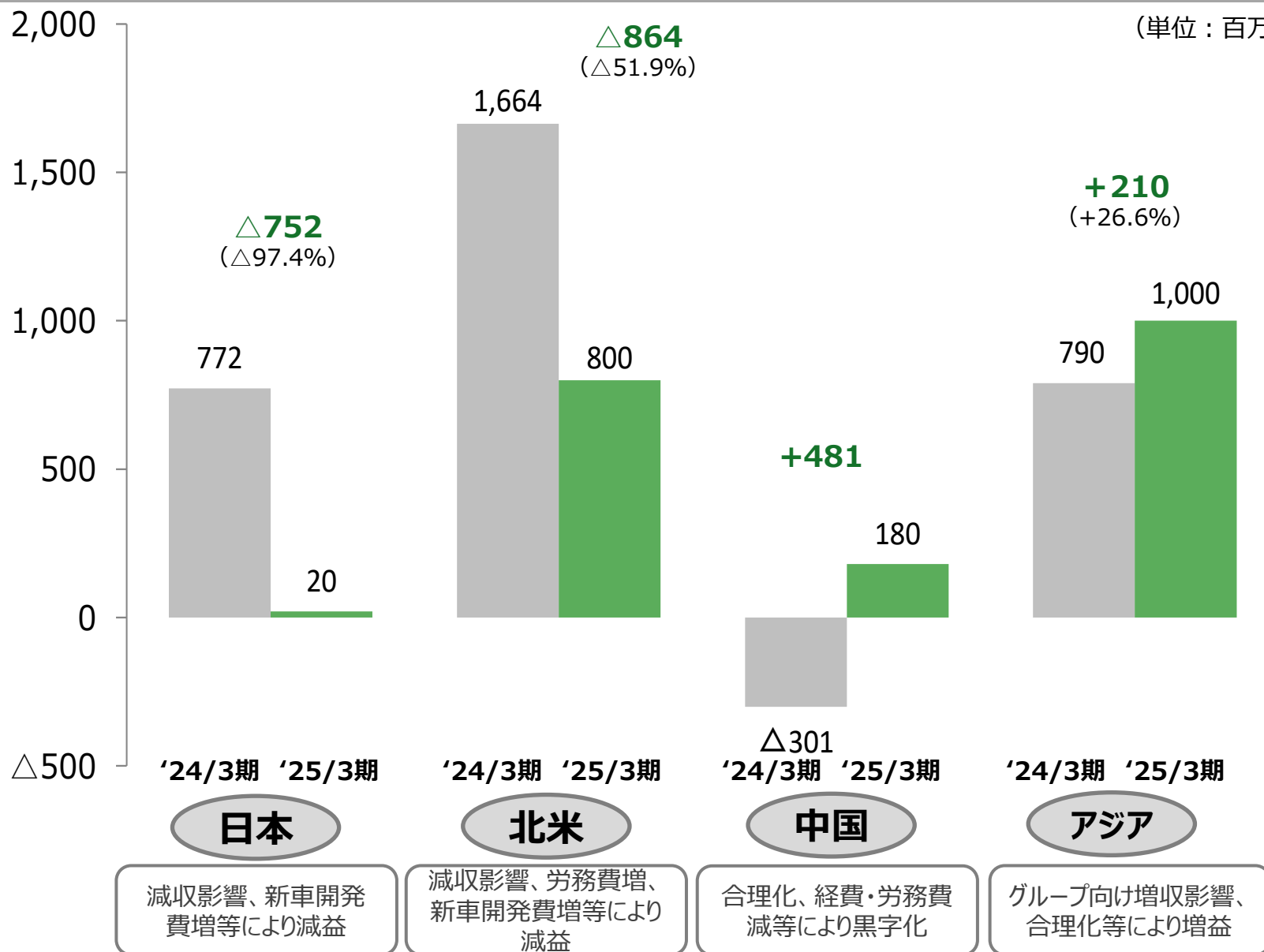


概ね前期並みに推移する見通し

(2) セグメント情報 <地域別営業利益>



(単位：百万円)

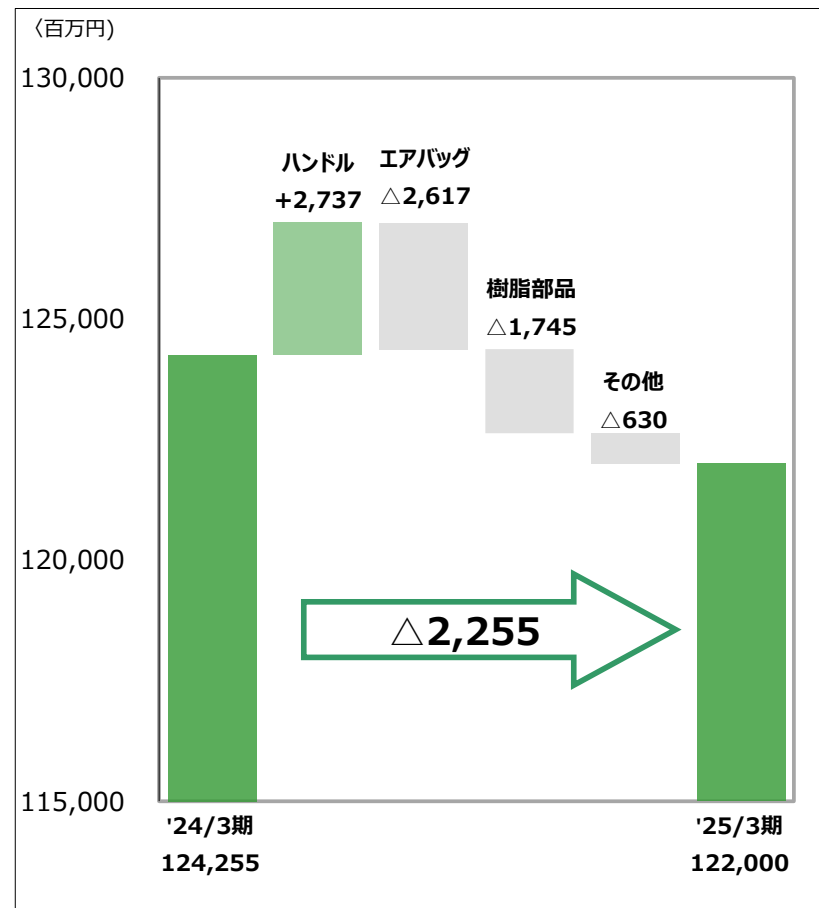


(3) 製品別売上



(単位：百万円)

	'24/3期	'25/3期	対前年比	
			増減	伸率
ハンドル	31,518 (25.4%)	34,255 (28.1%)	2,737	8.7%
エアバッグ	32,715 (26.3%)	30,098 (24.7%)	△2,617	△8.0%
樹脂部品	59,382 (47.8%)	57,637 (47.2%)	△1,745	△2.9%
その他	640 (0.5%)	10 (0.0%)	△630	△98.4%
連結売上高	124,255	122,000	△2,255	△1.8%



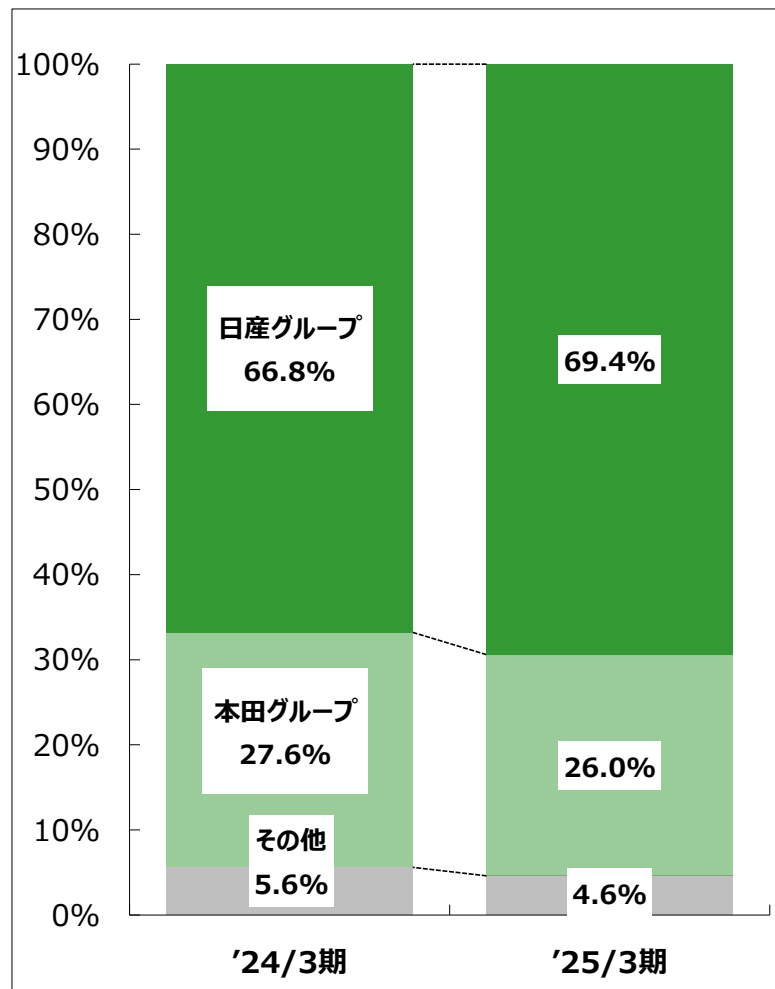
ハンドルは増加するものの、それ以外の製品は減少する見通し

(4) 得意先別売上



(単位：百万円)

	'24/3期	'25/3期	対前年比	
			増減	伸率
日産グループ	82,979 (66.8 %)	84,659 (69.4 %)	1,680	2.0 %
本田グループ	34,319 (27.6 %)	31,777 (26.0 %)	△ 2,542	△7.4 %
その他	6,957 (5.6 %)	5,564 (4.6 %)	△ 1,393	△ 20.0 %
連結売上高	124,255	122,000	△ 2,255	△ 1.8 %

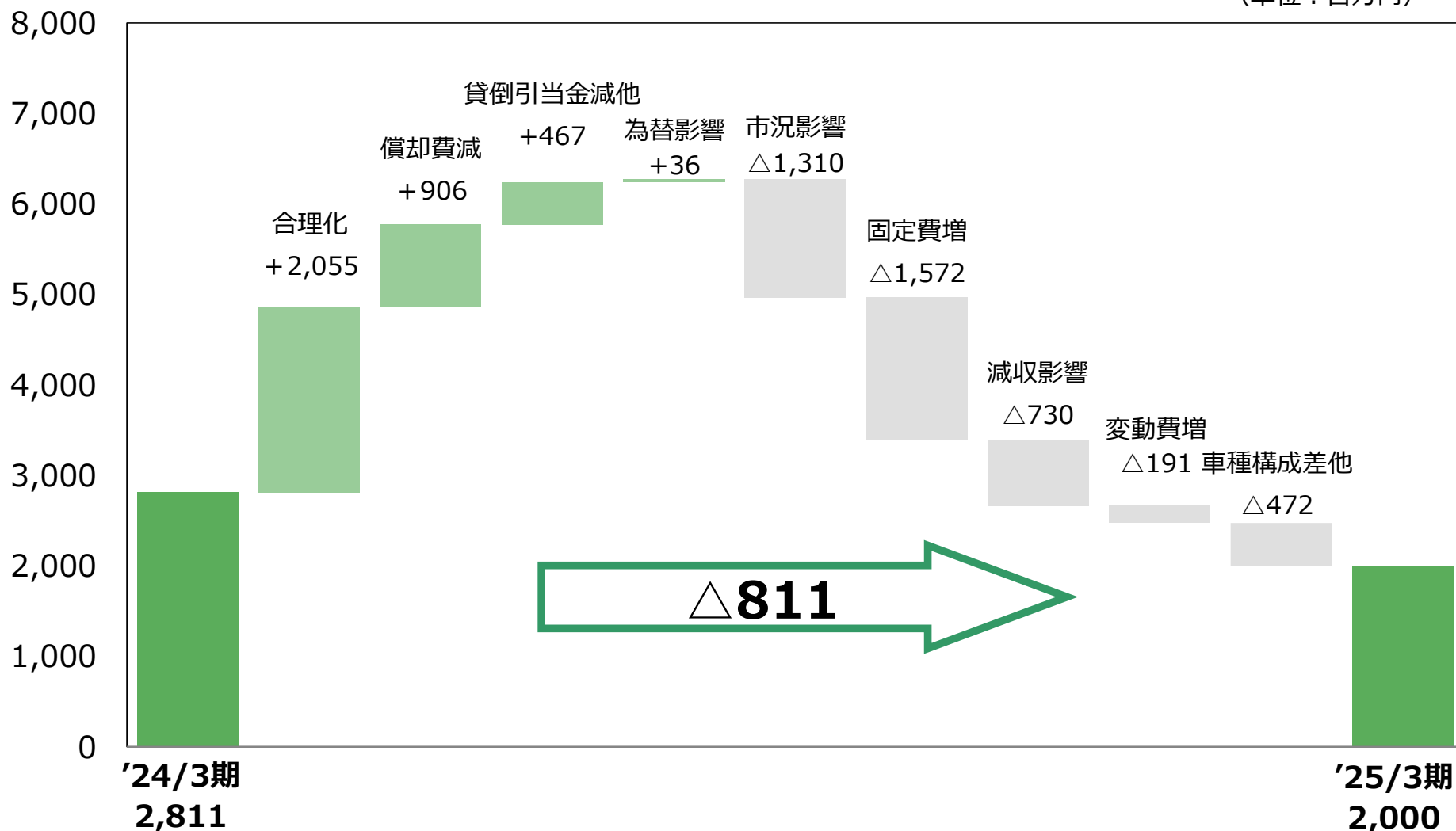


日産は増加するものの、それ以外の得意先は減少する見通し

(5) 營業利益増減説明

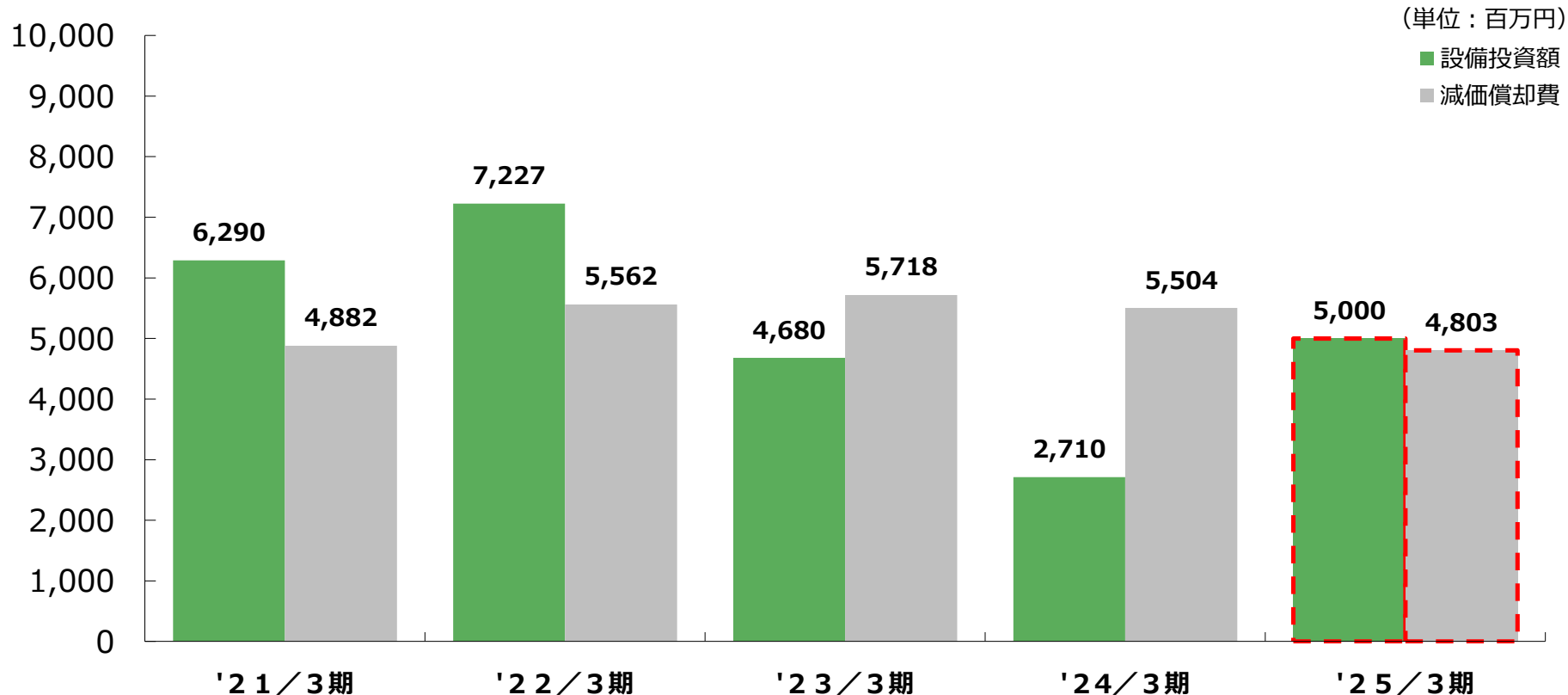


(単位：百万円)



※償却費は為替影響 (Δ205) を除く金額となっています。

(6) 設備投資と減価償却費



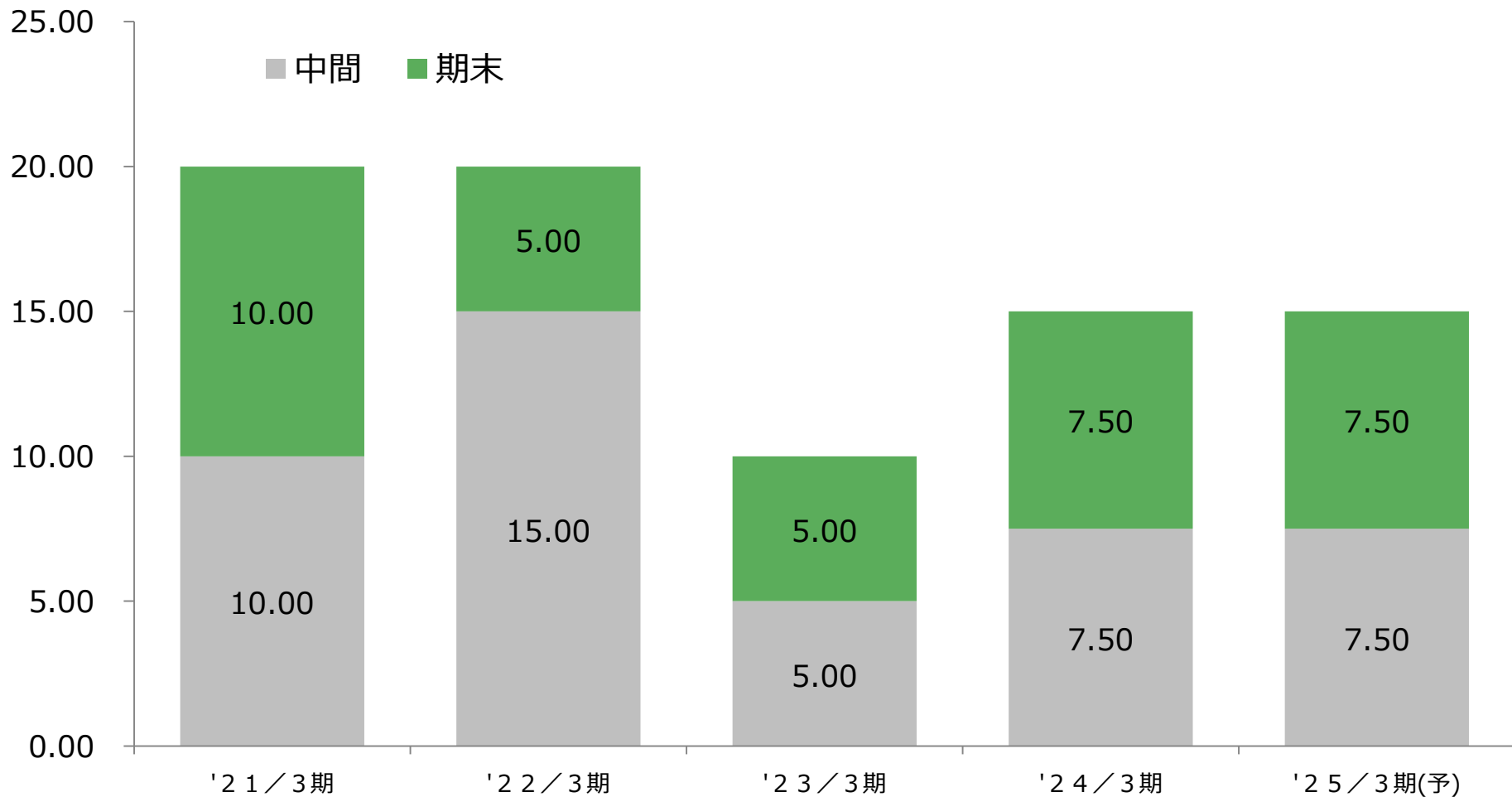
	'21/3期	'22/3期	'23/3期	'24/3期	'25/3期 (予)
投資の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・金型 ・Mg鋳造設備 ・バトナム新拠点工場,土地 ・INJ成形設備 ・新車生産設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・金型 ・工場増築 ・新車生産設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・金型 ・新車生産設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・金型 ・新車生産設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・金型 ・新車生産設備 ・成形設備

(7) 配当金



(単位：円)

<配当金推移>



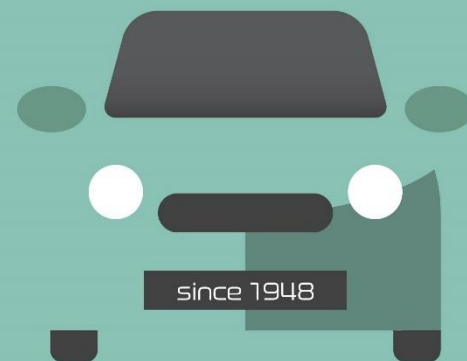
質問	回答
北米は2024年3月期4Qを切り取ると赤字になっているが、その要因を詳しく教えてほしい。	原材料価格等の下落に連動し、上期まで遡って販売価格の改定をした影響及び将来立ち上がる新車の開発費が先行で発生していること等が主な要因。
2024年3月期決算（連結）に減損損失が計上されているが、内容を詳しく教えてほしい。	市場環境悪化に伴い、収益性が低下したことから、固定資産の一部回収が困難と判断したため、日本の事業用資産、中国2拠点の遊休資産について、減損損失を計上。
2024年3月期第3四半期に貸倒引当金繰入額を計上しているが、第4四半期で追加の費用計上はあるか。	自転車用エアバッグ販売先であるHovding社の倒産により、第3四半期において貸倒引当金繰入額を3億円計上したことに加え、第4四半期で在庫処分を実施し、材料費が1億円増加。
2024年3月期と2025年3月期を比較すると、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益が大幅に減少するがその要因を教えてほしい。	経常利益：営業利益減少及び2024年3月期に為替差益が6億円発生している影響が主な要因。 親会社株主に帰属する当期純利益：経常利益の減少及び2024年3月期に発生した製品保証引当金戻入額と減損損失の影響がなくなったことが主な要因。

質問	回答
2025年3月期の減益要因である開発費について詳しく教えてほしい。	将来立ち上がる新車（主に電気自動車）のための先行投資。2024年3月期の下期から日本・北米で費用が発生し、2025年3月期も年間を通して発生する見込み。得意先、車種、量産開始時期等の具体的な内容は現時点ではコメントできない。ご理解いただきたい。
資本コストや株価を意識した経営の推進について考え方を改めて教えてほしい。	現在のところ、PBRは1倍を下回る水準となっており、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けての対応が不十分であることは認識しているものの、2025年3月期も安定した収益を上げることを最優先に考え、会社の成長のための投資、株主還元の原資を確保したい。

1. 2024年3月期 決算報告

2. 2025年3月期 通期見通し

3. トピックス





「人とくるまのテクノロジー展 2024」に出展 次世代の自動車に向けた内外装部品や サステナブルへの取り組みを紹介

開催期間：5月22日～24日
会場：パシフィコ横浜(横浜市)



展示物

次世代自動車に向けた提案

- ・ノイズレスデザインコックピット
- ・電動コンソール
- ・騒音規制に向けた防音部品

サステナビリティへの貢献

- ・CNF
- ・微生物ウレタン分解技術
- ・サステナブル商品

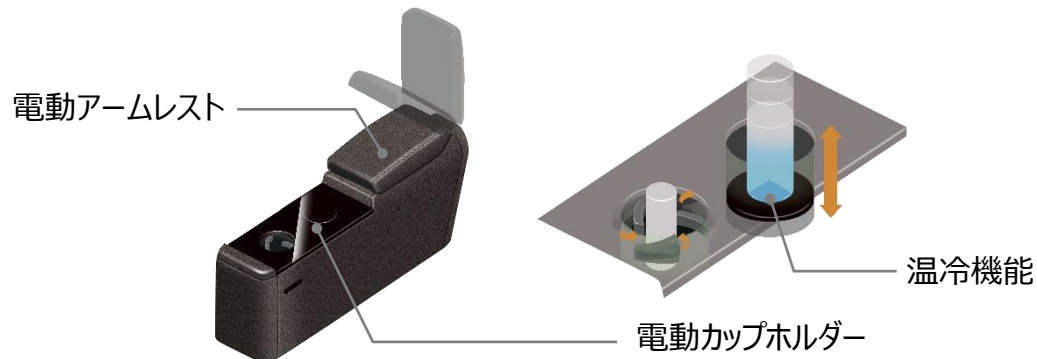
ノイズレスデザインコックピット

- ・「かんたん・うれしい・ちょうどいい」移動体験を提供するコックピット
- ・空調の吹き出し口やスイッチなどの存在感を減らすことでノイズレスなコックピットデザインを提供
- ・タッチ操作にイルミネーションや振動を連動させた、直感的でわかりやすいフィードバック



電動コンソール

- ・電動化により人の操作をアシストする「くつろぎ」を提供するコンソール
- ・ジェスチャー操作により自動で開閉する電動アームレスト
- ・容器に合わせて自動で調整する温冷機能付き電動カップホルダー



トピックス_受賞実績

詳細、最新の情報は、
当社ホームページをご覧ください。
<https://www.n-plast.co.jp/>



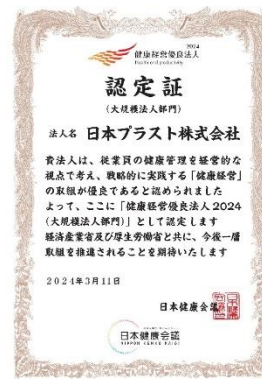
日本プラスト株式会社



3年連続 「健康経営優良法人」に認定

当社は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人として、「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に認定されました。

※経済産業省が地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度



日本プラスト株式会社

本田技研工業株式会社より 2024年 優良感謝賞を受賞

創意工夫をこらしたものづくりを行い、原価低減活動に対して常に自助努力を欠かさないサプライヤーとして通算8回目の優良感謝賞（原価部門）を受賞、新機種の開発において『仕様・造り・買い』の積極的な原価低減活動を行い、コスト領域においてお客様の期待に応える事ができたことが高く評価されました。



贈呈された盾

Neaton Auto Products Manufacturing Inc.
(アメリカ拠点)

オハイオ州 シニア・センター協会より コミュニティ・パートナー・オブ・ ザ・イヤーを受賞

地元のシニア・センターへ物資の寄付などを10年以上、継続的に実施しており、高齢者への継続的な支援が高評価されました。



贈呈された盾

トピックス_SDGsへの貢献

各活動の詳細、最新の情報は、
当社ホームページをご覧ください。
<https://www.n-plast.co.jp/>



持続可能な社会に貢献すべく、活動を実施しました

- ・静岡県主催海岸清掃イベント「6R県民運動」参加
- ・アメリカ拠点 社内コミュニケーション活性化イベント実施



- ・従業員家族向け「ファミリー社内見学会」実施
- ・第5回「はぐみの森」鳥の生態教育と巣箱づくり体験実施
- ・“女性活躍推進”男性管理職向けセミナー実施
- ・富士宮駅伝に協賛および参加



▲「6R県民運動」のようす



2024年1月



▲社内コミュニケーション活性化イベントのようす



2月



▲「はぐみの森」イベントのようす



3月



▲アメリカ拠点 スポーツイベントのようす

- ・アメリカ拠点 地域清掃活動に参加
- ・第2回 田子の浦海岸清掃活動実施
- ・地域ポッチャ交流会に協賛
- ・アメリカ拠点 地域スポーツイベントに参加
- ・静岡県障害者スポーツ協会から感謝状を受領
- ・「パートナーシップ構築宣言」公表
- ・「マルチステークホルダー方針」公表



▲アメリカ拠点 地域清掃活動に参加



▲「ファミリー社内見学会」のようす



日本プラストは
SDGs活動に
取り組んでいます

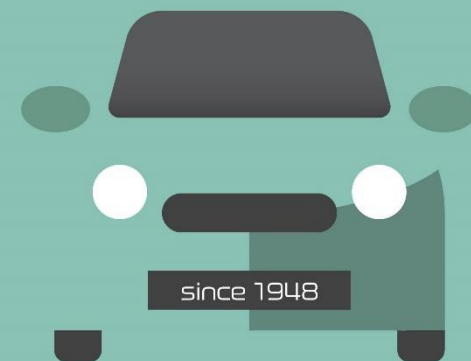


▲田子の浦海外清掃活動のようす



▲富士宮駅伝に出場した選手と応援団

1. 第6次中期経営計画 概要
2. 品質：ゼロディフェクトのやり切り
3. 収益：営業利益率3%
4. SDGs：CO₂/廃材排出量削減

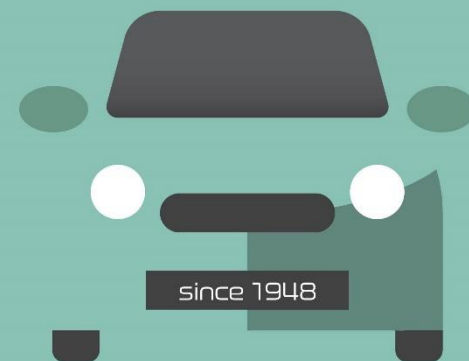


1. 第6次中期経営計画 概要

2. 品質：ゼロディフェクトのやり切り

3. 収益：営業利益率3%

4. SDGs：CO₂/廃材排出量削減



基本方針

効率化推進・成長投資を通じて経営基盤（人財・技術・財務）を強化し、企業価値の最大化を図る

スローガン

Build-Up

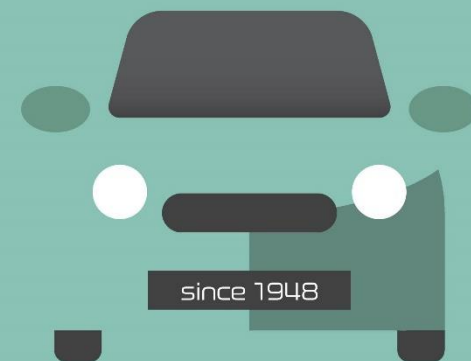
経営目標

品質：ゼロディフェクトのやり切り

収益：営業利益率3%

SDGs：CO2/廃材排出量削減

1. 第6次中期経営計画 概要
2. 品質：ゼロディフェクトのやり切り
3. 収益：営業利益率3%
4. SDGs：CO₂/廃材排出量削減



品質：ゼロディフェクトのやり切り



ゼロディフェクトに向けての取り組み

- ・機械・設備による品質保証の推進
 - センサーカメラを活用した異品・欠品等の不良品検出
 - QRコードを活用した製品のトレーサビリティ向上
 - 産業用ロボットを活用した難作業の代替
- ・工程保証度評価制度見直しによる品質管理基準の強化
- ・品質不正防止のための定期試験方法の検証（後述）



カメラ検知による検査工程

仕様・色間違い等の異品、部品・ビスの欠品等、多くの検査項目を人に代わってカメラで検知。



QRコードによる製品管理

製品の1点1点をQRコードでリンク、トレーサビリティを向上。工程・作業員・時間を記録、品質不具合の特定を容易に。



品質：ゼロディフェクトのやり切り



得意先様品質賞受賞

Nissan North America様
Regional Supplier Quality Master Certificate

Nissan Motor (Thailand)様
Regional Supplier Quality Award Finalist

東風日産様
2023年度优秀供应商 (品質を含む総合評価での受賞)



Regional Supplier Quality Master Certificate



Regional Supplier Quality Award Finalist



2023年度优秀供应商

認証試験不正発生防止の取り組み

エアバッグの静的展開性能試験

特定の気温条件において、エアバッグが破損等なく適切に展開され要求性能を発揮することを検証。



内装樹脂部品の難燃性試験

製品（材料）の燃焼速度を測定し、要求基準内であることを確認。



燃焼速度 早い事例



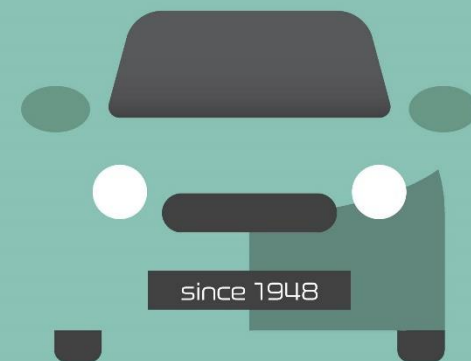
燃焼速度 遅い事例



燃焼速度 “0”の事例

いずれの試験も適切に実施されていることを確認

1. 第6次中期経営計画 概要
2. 品質：ゼロディフェクトのやり切り
3. 収益：営業利益率3%
4. SDGs：CO₂/廃材排出量削減

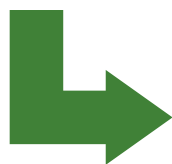


収益：営業利益率3%



第6中計 営業利益率(連結ベース)TARGET

2023年度	2024年度	2025年度
2.6%	2.8%	3.0%



実績
2.3%

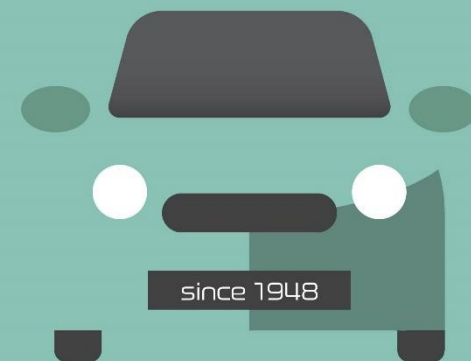
▲0.3%

要因:

- ・ コロナ/半導体供給不足の解消に伴う得意先の生産回復。
- ・ 生産体制の最適化による生産ロス解消、自動化投資による生産の効率化。
- ・ 原材料市況、電力料/輸送費等の高騰影響の一部製品価格反映。
- ・ 中国市場における得意先販売低迷による、中国子会社の収益悪化。
- ・ 取引先倒産による貸倒引当金の計上。

新商品・新技術の開発、新規事業創出検討など、
未来に向けた種蒔きとなる施策も推進中

1. 第6次中期経営計画 概要
2. 品質：ゼロディフェクトのやり切り
3. 収益：営業利益率3%
4. **SDGs：CO₂/廃材排出量削減**



SDGs : CO2/廃材排出量削減



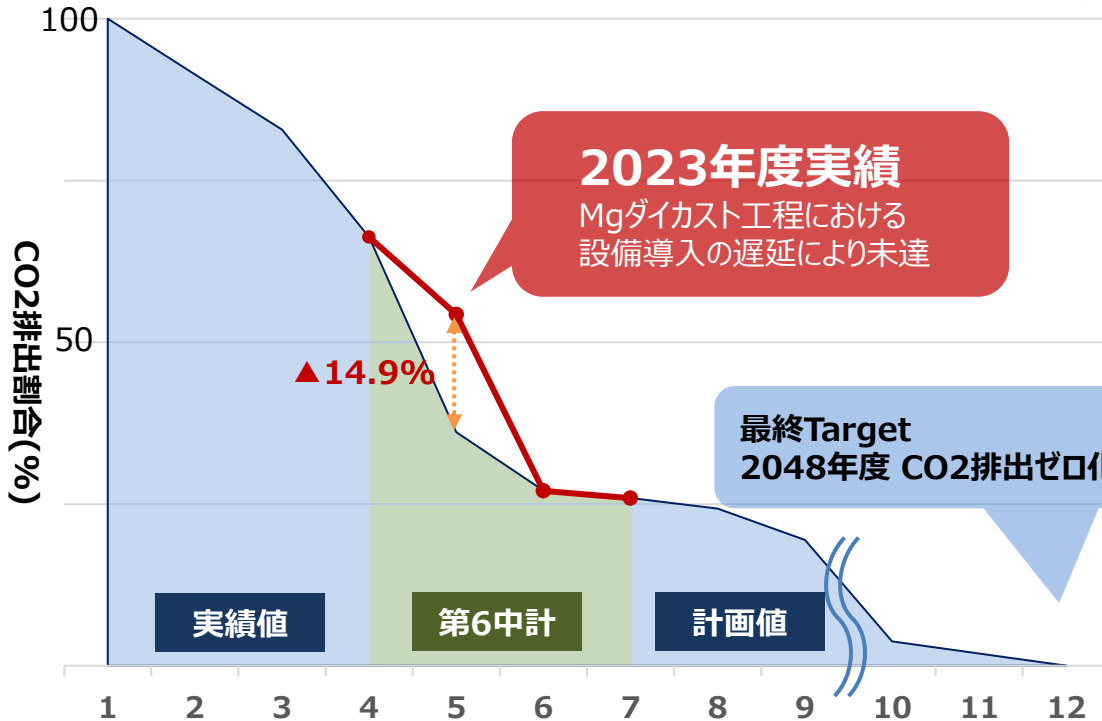
CO2排出量削減

環境目標	指標	目標値		
		2023	2024	2025
CO2排出量削減	2013年度 売上高原単位基準年	63.9%削減	72.9%削減	74.1%削減

〔CO2削減量(2013年度を100%とした際の削減量)〕



2023実績
49.0%削減



〔ソーラーパネル導入〕



メキシコ子会社の屋上ソーラーパネル

廃材排出量削減

環境目標	指標	目標値		
		2023	2024	2025
廃材排出量削減	19年度 売上高原単位基準年	6.9%削減	8.6%削減	10.3%削減

〔廃材アップサイクル製品の拡充〕



廃材アップサイクル製品の新しいラインナップ
本製品の生産は社外の就労継続支援事業所にて行っています。



2023実績

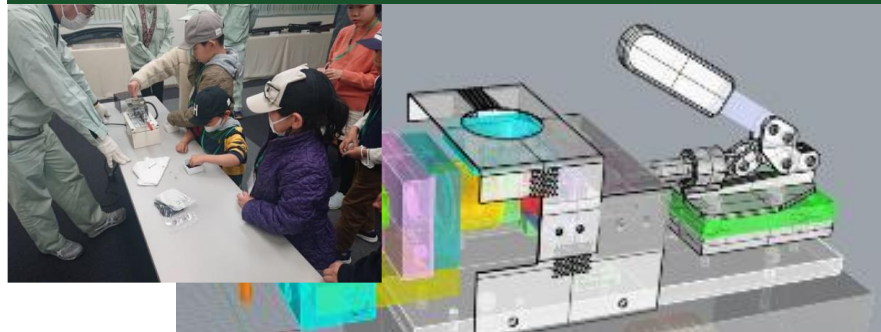
15.8%削減

〔地域社会との連携〕



富士宮市HPより
<http://www.city.fujinomiya.lg.jp/>

樹脂リサイクルキットによるリサイクル体験
日本プラスト (本社)



周辺小学校の困窮学生を支援
Nihon Plast Vietnam (ベトナム)



地域清掃活動
Neaton Rome Inc. (米国)



従業員感謝祭
Neaton Auto Products (米国)



クリスマスチャリティーイベント
NAPM、NRI (米国)



- 3 すべての人に健康と福祉を
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

ご視聴ありがとうございました。

◆決算説明に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。
お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/zWBLTHNkRPrSHdsh8>
(受付期限：2024年6月28日)



◆今後の運営の参考にさせていただきますので、よろしければアンケートにご協力ください。
※アンケートにご回答いただいた方、
先着50名に粗品をプレゼントいたします。
アンケート入力画面：<https://forms.gle/5mwdfa9bnQ1APbnn9>
(回答期限：2024年6月28日)



- ◆本資料に記載の将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
実際の業績は、様々な要因の変化により、記載されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。